



受賞者名 日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会

取組
タイトル 若者が思春期の若者を支える
ピアカウンセリング活動の取り組み

所在地 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門内

電話 0742-95-9850 (FAX) (奈良学園大学保健医療学部内)

取組課題 基盤課題 B「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」

プロジェクトウェブサイト URL <http://www.jpcaea.net/>

団体概要

本会は、ピアカウンセラー・ピアエデュケーションの定着と普及、研究を目的とした団体です。

取組・事業の概要と特徴

目的・概要

日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会は、「ピア・カウンセリング/ピア・エデュケーション」の実践と普及、並びに研究という目的を達成するための活動を行っています。具体的には、①全国で開催される思春期ピアカウンセラー養成プログラムの管理や定期的な評価・改定（特に、時代の変化に伴う社会のニーズや若者気質の変化に対応したカリキュラム内容の見直し）、②思春期ピアカウンセラーを養成する講師の認定と継続的な育成（ブラッシュアップ研修会の開催や健やか親子21に関連した新しい知見の紹介など）、③全国で開催されている思春期ピアカウンセラー養成講座へ認定講師の派遣、④地域活動が円滑に行われるためのピア・コーディネーター養成、⑤ピア・カウンセリング・エデュケーションに関する研究、⑥全国への普及啓発に向けての「ピアカウンセリング・ピアエデュケーション実践マニュアル」の出版と教材開発を行っています。①～④までの人材養成では、本会が構築した養成プログラムを用いて、認定を受けた講師がカウンセラーを養成しています。また、研修プログラムを用いてピア・コーディネーターを養成しています。これにより活動継続システムが構築され、思春期ピアカウンセラーやピア活動の質を担保し、活動の継続と定着が図られています。

成果

本会の結成から11年間で、思春期ピアカウンセラーを養成する認定講師は60人となり、思春期ピアカウンセラー養成講座を185回開催し、2,986人の思春期ピアカウンセラーを養成しました。思春期ピアカウンセラーたちは、各地域において中高生、大学生等を対象に将来の望んだ時に妊娠・出産するための人生設計、性感染症予防、望まない妊娠予防などの性=生の健康教育、自尊感情を育む心の相談活動を実施し、未来に向けた母子保健の向上に寄与しています。2年ごとに開催している全国ピア・カウンセリング大会は、2015年で第6回を迎えました。全国から思春期ピアカウンセラーとピアカウンセラー養成認定講師やピア・コーディネーターが参加し交流を深め、各県の様々なピア活動を発表しあい、今後の活動について検討を行っています。



福島ピアカウンセラー
オリジナルグッズ

第6回全国大会:全国各地からピアカウンセラーら 138名が集結



全国各地の活動報告

